

ボランティアさん とともに 生き生きと暮らす

木もれ陽

相良ホーム長のご利用者ファースト

【一律から個別へ】

食事やおやつなどで水分を摂ったあとは全員に声をかけてトイレに誘導します。それが今までのグループホームこまばでした。良いのですが、中の上です。なぜでしょうか。トイレに連れていくんだから良いことじゃないかと思われるでしょう。



ここが特別養護老人ホームだったら凄く良い施設だと思って良いでしょう。朝食後の排便のゴールデンタイムにトイレに誘導するのは凄く良いことです。しかし、自分で尿意と便意がある人にまでこちらから声をかけてトイレに連れていく必要があるのでしょうか。

半年前から、尿意便意があって自分でトイレに行かれる方のトイレ誘導をやめました。結果、自分でもよおした時にトイレに行って尿も便もしています。そして何よりも自由になりました。行きたい時に勝手にトイレに行く。当たり前前ですよね。

勿論、朝食後にトイレに行くという理論は正しいです。便が一番でやすい時だからです。皆さんも体験としてご存知でしょう。だからご自身で尿意・便意を訴えられない方に対してはトイレに誘導します。

しかし、理論を一律にご利用者に当てはめて全員トイレに誘導するのは、ご利用者を管理し過ぎ、予防し過ぎです。



【起床時の空腹の状態では冷たい飲み物を飲む】

【日常的に繊維ものを摂る】

【日常的に歩く】

など、生活の中で出来ることから行っていきます。もちろん下剤は最後です。結果として現在排便が滞っている方はいらっしゃいません。下剤服用者もいらっしゃいません。当たり前前の生活の中から自然に排泄ができる様に支援していく…そのアプローチが介護の専門性だと考えています。

入浴委員より

【入浴の楽しみ】

入浴委員では、入居者の皆様にお風呂を楽しんで頂けるような提案をしています。取り組みの一つとして入浴剤を活用しています。お風呂に入る前に「今日は何の湯にしようかしら」「今日は有馬の湯ね」と、入居者の皆様に入浴剤を選んで頂き、より入浴を楽しんで頂いています。肌ざわりも香りも良く、温泉気分を味わえます。

入浴の方法を検討するのも入浴委員の仕事です。一人で浴槽に入るのが難しい方は、以前はシャワー浴を行なっていましたが、浴槽への出入りをスタッフ2名介助で行うことを提案し、実施しています。「ありがとう」「嬉しい」などと、お風呂を楽しんでいる声が聞かれており、以前よりも入浴を満足して頂いています。

冬至の日にはゆず湯を楽しみ頂きました。端午の節句には菖蒲湯を予定しています。今後も、入居者の皆様が、ゆっくりと日々お風呂を楽しめるよう、様々な提案やイベントの企画、環境の整備に取り組みます。



トピックス

正月飾りを買いに近所の花屋殿山園さんへ



門松を取り付けてお正月の準備



お正月



職員の青木さんご利用者にメイクしてもらい赤鬼に変身!!



節分



4人の鬼が登場!! 豆を思いっきり投げて鬼退治しました

ひな祭り



みんなで桜餅を作りました。手作りの味は格別です。



お雛様の前で記念撮影



新年お祝いの会

